

帯農学校通信

令和7年7月23日
第4号

北海道帯広農業高等学校 Tel 0155-48-3051 Fax 0155-48-3052 URL: <http://www.obino.hokkaido-c.ed.jp>

校長室から



本日が夏季休業前の全校集会となり、前期のおおよそ3分の2を終えたことになりましたが、4月からの本校の取組を振り返ってみたいと思います。

今年度は、本校のアンテナショップ「あぐりす」等での販売実習の他に、「連携」をキーワードとして様々な特色ある教育活動を推進しております。例年行っている農業クラブが主体となっているすこやか農園や酪農科学科の酪農教育ファームなどの交流学习に加え、農業科学科・酪農科学科の新規就農プログラム研究開発の授業など、各科で大学、企業、農家の方々と連携した取組も行いました。夏休みには、酪農科学科の国内委託実習、食品科学科のデュアル派遣実習を実施します。

これらの取組は、生徒にとりましては、学校の先生や生徒と違う職業人と接する貴重な体験の機会であり、今後も充実を図っていききたいと思います。

それでは、明日から夏休みになりますが、健康管理には十分留意して、有意義に過ごしてくれることを期待しています。

北海道帯広農業高等学校長 佐藤 裕二

7月のトピックス



第75回帯農祭が終わる

7月4日（金）、5日（土）、第75回帯農祭が行われました。1日目はクラスステージや花火を行い、2日目は、模擬店、農産物販売、スライドショーなど色々な企画があり、大いに盛り上がり生徒達にとって、最高の2日間となりました。2日間にわたり、学校祭の企画運営に携わってきた生徒会執行部、各実行委員長の皆様、お疲れ様でした。また模擬店では、PTAや同窓会の皆様のご協力により賑やかな学校祭となりました。有難うございました。



「めざせ！北の“新”農業人」雇用就農に向けたマッチング交流会開催

7月10日（木）、農業科学科と酪農科学科の全年を対象に、マッチング交流会が開催されました。全国各地から集まった16社の農業関連企業や生産者が来校し、今年で3年目を迎える新規就農プログラムにふさわしい熱気あふれる学びの場となりました。自家就農、雇用就農、新規就農を志す者。生徒たちは自らの未来と真剣に向き合い、「農業で生きていく」という選択肢を広げることができました。

「農業は可能性を秘めた職業」そんな想いを感じることでできる学びの舞台となりました。皆さん有難うございました。



東北海道意見発表大会が終わる

6月30日・7月1日（月・火）、中標津町総合文化会館しるべつにて、東北海道意見発表大会が開催されました。本校は本大会最多の7名のクラブ員が出場。分野Ⅰ・Ⅱ類での最優秀賞を含め、全分野で入賞することができました。今大会で入賞したクラブ員は発表にさらに磨きを掛け、8月27～28日に留寿都で行われる全道意見発表大会に挑みます。当番校の皆さん、ありがとうございました。



8月の主な行事予定



6日（水）コミュニケーションスキルアップセミナー（～7日）
7日（木）全道技術競技大会（岩見沢～8日）
13日（水）～15日（金）学校閉庁日
20日（水）全道実績発表大会（遠別～22日）
25日（日）開寮、C科Ⅱ期入寮
26日（月）全校集会、身だしなみ教育、C科Ⅱ期入寮

27日（水）農工定期戦、全道意見発表大会（留寿都～28日）
28日（木）3年進路ガイダンス
インターンシップ事後指導
29日（金）あぐりす⑥、1D農事見学
D科北海道肉用牛共進会（～30日）
30日（土）帯農フェス